

斐伊川・神戸川流域環境マップづくり 2025年報告書

学校名・施設名等 出雲市立須佐小学校

担当者名 川上 嘉晃

対象河川名 須佐川・神戸川 実施時期 春

*夏の調査期間は7月11日から8月31日までとしています。

取り組み状況（河川環境の状況、学習での取り組み、指導者・ボランティア等について）

〔参加学年等〕 第4学年 〔参加者数〕 春調査 14人

【実施日①】2025. 6. 27（金） <天候>晴れ

<河川名>須佐川 <調査場所>須佐小学校前

<気温>28℃ <水温>21℃

<透明度>50~55cm <COD>2~20mg/L

<pH>7.0~7.5 <水のおい>なし

<一番多かった指標生物>カワゲラ類 7

カワニナ類 5、ヒラタドロムシ類 3、コオニヤンマ 2、

ナガレトビケラ類 3、オオシマトビケラ類 1、コガタシマトビケラ類 1

<水辺の様子>2日前に雨が降ったことより、普段より水量が増え、濁っていたように感じる。

【実施日②】2025. 7. 1（火） <天候>晴れ

<河川名>神戸川 <調査場所>旧窪田小学校前

<気温>29℃ <水温>23℃

<透明度>100cm <COD>2~8mg/L <pH>未実施

<一番多かった指標生物>ヒラタカゲロウ類 24

カワゲラ類 20、ナガレトビケラ類 3、ヒラタドロムシ類 3、

カワニナ類 4、コオニヤンマ 2、ナミウズムシ 1、ヘビトンボ 1

<水辺の様子>

川底を保護するためにコンクリートで固められているところもあるが、外来植物の水草も見られる。



子どもや教師・地域等の感想（子どもの反応や反省点、要望等）

- 川の中には、たくさんの小さな生き物がいて、びっくりした。
- 川の流れは急だったのに、どうして流されないのか不思議に感じました。
- 指標生物を数えるのが大変だった。
- 似ている生き物がたくさんおり、しっぽの数で違う生物なのが勉強になった。
→写真だけでは似ている、生物の判断は難しいように感じました。特徴が書かれているものがあると良いと感じました。
- 実験で、しょうゆを一滴垂らただけで水質が一気に悪くなり、びっくりしました。
- 須佐川と神戸川のどちらの川もきれいな水だったけど、ゴミが落ちていた。きれいな川を守っていきたいと思いました。